

酵素・栄養セラピスト認定プログラム

by Dr. Mamadou

目的：

酵素栄養のトレーニングと認定は、栄養とヘルスケアにおける酵素補給の科学的、臨床的関連性を学ぶ助けになります。具体的には、酵素サプリメントの基本的な生化学、その薬物動態学および薬理学、ならびに、多様な生理学的状態における酵素ベースサプリメントの直接的な適用を理解するのに役立ちます。

この認定には、少なくとも2つのコースの修了を必要とします。(各コースは2日間：2コース合計4日間かかります) コース修了後、認定登録をした参加者は、その知識と理解度をテストするために、一定数のケーススタディを与えられ、レポートを作成(英語又は日本語)します。レポートの期限は、全コース終了時にお知らせします。

これらのコースは、**現酵素セラピスト**には必須ではありません。ただし、コース受講を希望される方は、直接ご連絡下さい。

コーススケジュール

第1コース： 2018年 9月23、24日

第2コース： 2018年 11月23、24日

場所： 東京 (住所は後日ご連絡します)

コースカリキュラム：

1日目：9月23日

- 概論
- Dr. Mの360° ウェルネスサークル及び、生物学的ポジショニングシステムのコンセプトの紹介
- エピジェネティックの紹介：ウェルネス生物学のあらゆる側面の重要な要素として
- 胃腸管の発達生物学：個人差における栄養の基礎
- 細胞傷害および炎症の生物学：これはすべての疾患に共通する

2日目：9月24日

- 基礎酵素科学：酵素の生化学基礎
- 酵素療法：治療薬としての酵素の基礎と証拠

- 酵素サプリメントの薬理学、薬物動態
- 酵素サプリメントとして使用される酵素の種類と特性
- いくつかの製品例

3日目：11月23日

- 免疫学の基本的側面
- がんの発達と進行の生物学、及び、がんケア支援におけるサプリメントの利点
- 酵素および補充療法における重要なバイオマーカーの認識と使用
- 医療と栄養における特定の酵素ベースのサプリメントの適用と利点

4日：11月24日

- 酵素および酵素ベース製品の調合、及び製造：特別な配慮事項
- ウェルネスと健康のための酵素ベースサプリメントの使用方法
- 製品の理論的根拠、用量、および推奨ガイドライン
- 酵素療法ワークショップ：具体的な事例による演習と実践的プロトコール
- 認証レポートの作成：ケーススタディ（事例研究）

受講料（資料代込み）： すべてのお支払いはクレジットカードでお願いします。

酵素セラピスト認定プログラム受講料：

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 8月15日までにお支払いの場合：\$ 825.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1600.00 |
| 8月25日までにお支払いの場合：\$ 875.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1680.00 |
| 8月25日以降にお支払いの場合：\$ 935.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1800.00 |

酵素セラピスト認定プログラムなしの場合：（認定セラピストの認定を希望しない方）

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 8月15日までにお支払いの場合：\$ 800.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1580.00 |
| 8月25日までにお支払いの場合：\$ 850.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1650.00 |
| 8月25日以降にお支払いの場合：\$ 900.00（1コース） | 2回分一括支払い：\$ 1750.00 |

認定酵素・栄養セラピストのメリット：

- 1- 酵素ベース・ウェルネスグループのエクスクルーシブ・メンバーになれる
- 2- いくつかの講義は認定セラピストのみに公開される
- 3- 特別プロジェクト（製品開発、R&D...）への参加資格が得られる機会がある

- 4- 注文量に応じて、製品の10~20%の割引が適用される
- 5- リフレッシュャーおよびトレーニングコースを優待価格で受講できる
- 6- テクニカルサポートとコンサルティングのために、Dr. Mと常時アクセスができる
- 7- 自身のウェブサイトや他の資料に認定証書を表示することができる
- 8- Dr. Mと協力して、興味のある特別イベントを企画することができる（一定の条件が適用される場合がある）
- 9- その他の利点は追ってお知らせします

追記

今後の講義シリーズのトピック（日程は追ってお知らせします- 興味のあるトピックをご連絡下さい：最も関心が寄せられたトピックを優先的に講義します）

- 1- 遺伝子発現とエピジェネティク：健康と疾病における個人差の基礎
- 2- 高度な免疫学および免疫調節因子：免疫系の複雑な機能を理解する
- 3- フィトケミカル（植物性化学物質）：サプリメントとして使用される植物分子の生物学および生産
- 4- プロテアーゼサミット：健康と栄養における食物酵素プロテアーゼ（タンパク質分解酵素）
- 5- 内在性カンナビノイドシステムの紹介：体内の重要なシグナル伝達系
- 6- 消化器系サミット：細胞の活力のための栄養、消化と吸収の理解
- 7- 遺伝子栄養学：転写因子としての栄養素
- 8- ホルモン：体内の様々なシステムを調節するホルモンの生化学機能の紹介
- 9- 精神神経生物学と食物：食物が行動や神経系に与える影響
- 10- プロテアーゼ活性受容体の導入：この新しい型の受容体の生理学、および臨床的意義
- 11- 免疫調節と炎症における性ホルモン：ウェルネスケアの新しいパラダイム
- 12- 人間のセクシュアリティ：生活システムの重要な基盤にも関わらず、しばしば健康とウェルネスでは軽視される愛と人間関係が健康に及ぼす影響
- 13- 慢性ストレス、慢性炎症の健康リスク：慢性ストレスが体へ与える生物学的代償：美しさから老化、癌を含む多くの病気まで
- 14- マイクロバイオーーム（細菌叢）と健康：マイクロバイオーームは人間生理学と健康のあらゆる側面に関与している
- 15- 栄養素の総合代謝：体内における食物栄養素の末路を理解し、健康と病気の生理にどのように相互関係し、統合されているか

- 16- **体の声を聞くことを学ぶ**： 健康や病気の動態を示す体からの重要な兆候をレビューするワークショップ
- 17- ウェルネスの統合と補完の高度な理解：Dr. M 360° ウェルネスサークルの概念- 人体におけるすべての生理-解剖学的システムは、ウェルネスとヘルスケアに統合されなければならない
- 18- 食物に誘発される炎症：栄養補助および消化酵素（グルテン、カゼイン、食物アレルギー、およびその他の食品関連問題...）
- 19- **フードサイエンスと技術**：食品微生物学や分子ガストロノミーの概念を含む調理準備と料理における科学の理解
- 20- **その他のトピック**- 皆さんの関心に応じて検討し発表します